

ＯＪＴによる普及指導員の育成

中央普及支援センター

石川県では、普及組織のスリム化やベテラン普及員のリタイア（退職）に伴い新任普及指導員の早期育成が重要となっています。平成27年度に策定された「石川県普及指導員等人材育成計画」では、ＯＪＴ研修による普及活動手法の早期習得を通じて人材育成を図ることとしています。

ＯＪＴとは On-the-Job Training の頭文字をとった、職場でのトレーニングや教育手法の一種で、「職場で実務をさせることで行う職業教育」のことです。ＯＪＴ研修は特に新任職員の能力を高めるのに有効とされており、日常の活動を通じて専門技術や手法、コミュニケーション能力など職務に必要な資質・能力を対象者のレベルに応じて育成ができるという特徴があります。

具体的な研修方法として、事務所に複数配置した「トレーナー」が、普及業務経験3年未満の「指導対象者」のＯＪＴ研修計画と指導対象者の身に付けるべき項目を細分化したチェックリストである「能力マップ」を作成すること、期中と年度末に指導対象者が自己評価し、トレーナーと管理職を交えて3者面談をすることなどが挙げられます。さらに、1月には指導対象者が自己調査研究や日頃の普及活動成果を発表する場を設け、研修の成果を検証しました。

中央普及指導センターでは、新任普及指導員がＯＪＴ期間終了後も自己研鑽に努め、将来のトレーナーとして成長することを期待し、今後もＯＪＴ研修カリキュラムの改善に努めることとしています。



外部講師による『世代ギャップのある指導対象者との接し方』の講演



ＯＪＴトレーナーと農業振興部長、農業振興課長による面談

問い合わせ先：農林総合研究センター農業試験場
中央普及支援センター
(076-257-9150)